

変わりゆくシニアのスマホ所有理由「使いたい機能」を抜き、「家族からの勧め」が最多

～所有理由を 2017 年調査と 2019 年調査を比較してみる～

株式会社NTTドコモ モバイル社会研究所

目次

調査結果 1 : シニアのスマホ所有理由

調査結果 2 : シニアがスマホを使いこなす手法

■ 調査結果

1— シニアのスマホ所有理由 「使いたい機能があった」を抜き、「家族からの勧め」が最多

シニアへのスマホ普及が進む中、所有するきっかけは変化しているだろうか。レポート No.12 で紹介した、2017 年調査と、今回紹介する 2019 年調査を比較してみた。

まず、スマホを所有した最大の理由を図 1 に示す。2017 年に最も多かった「使いたい機能があった」が 31%から下がり、20%まで落ちた。2019 年で最も高い所有理由は「家族からの勧め」であり、25%であった。

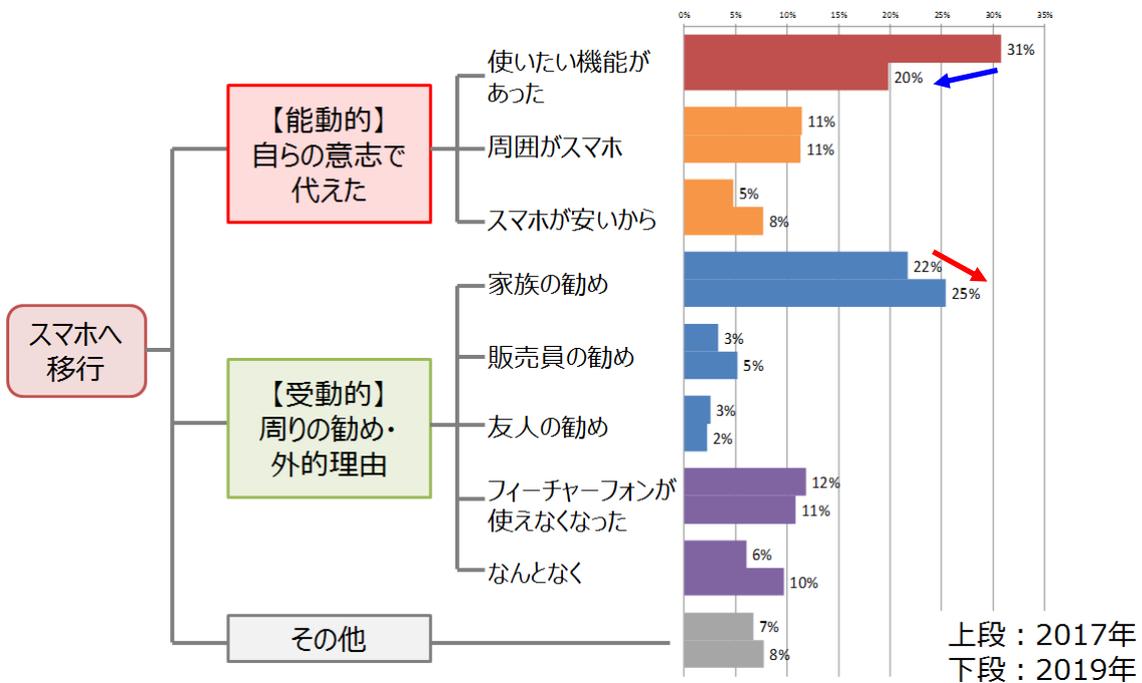


図1 シニアのスマホ所有理由（2017年,2019年比較）

2— 使いたい機能があるが減少した為、「能動的」が8pt 減

この結果を、能動的・受動的観点でまとめると図2の通り、能動的の割合が低下した。

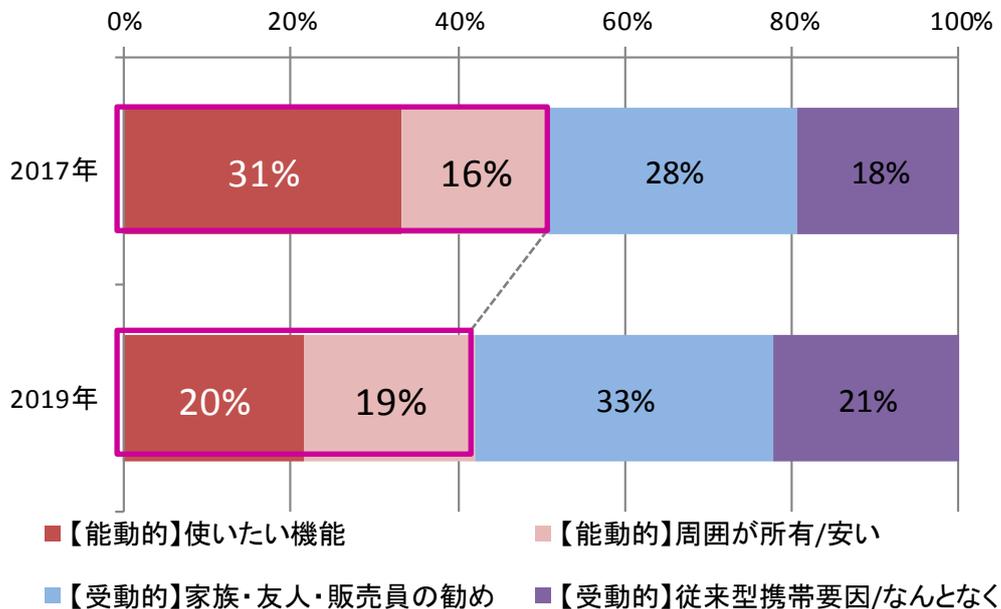


図2 シニアのスマホ所有理由大別（2017年,2019年比較）

3— 男性は「使いたい機能」女性は「家族からの勧め」が最多

性別では差異が見られ、男性は能動的、女性は受動的割合が高い。

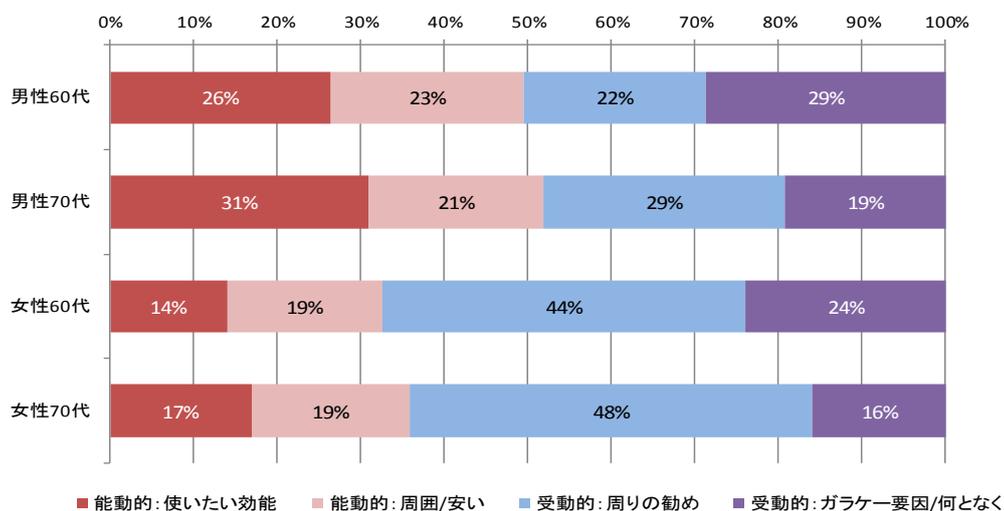


図3 シニアのスマホ所有理由性年代別

4— 使いこなす手法「手探りだけ」「購入店に聞く」「取扱説明書・専門書」が上位

最後にスマホ所有後に使いこなす手段について、2017年と2019年を比べてみた。こちらは「自力中心」「他力中心」で差異はあまり見られなかった。

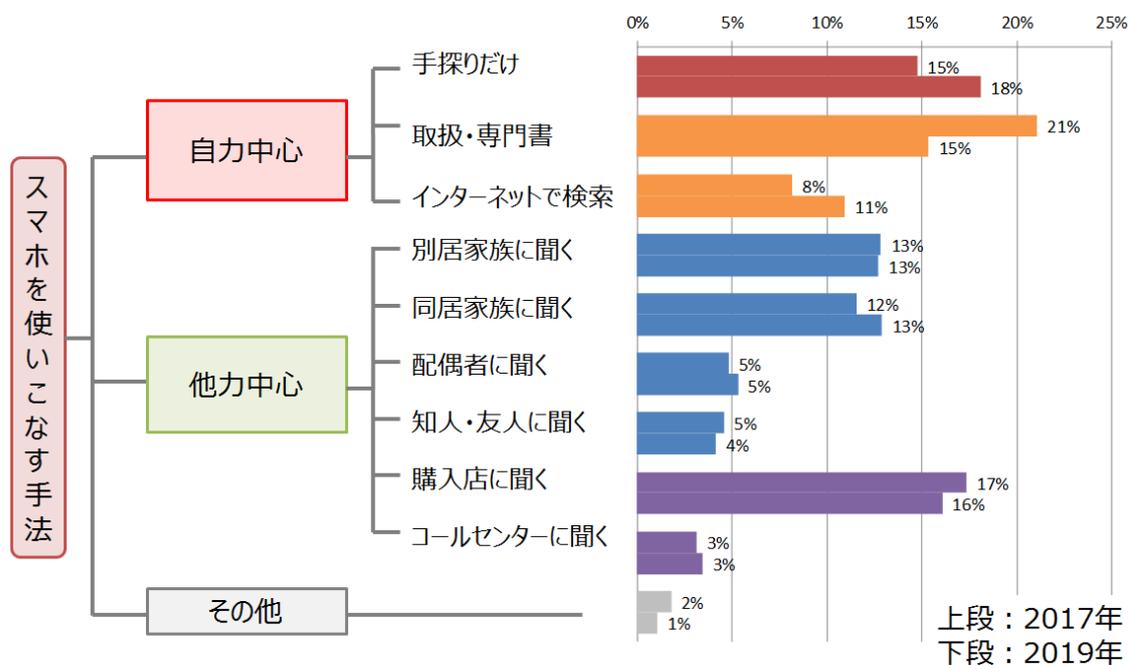


図4 スマホを使いこなす手法 (2017年,2019年比較)

■調査概要

2017年調査 (web 調査)

調査時期 : 2017年3月 調査対象 : 全国、60～79歳男女
 標本抽出法 : QUOTA SAMPLING 性別・年齢・居住エリアで割付 2,936サンプル回収

2019年調査 (web 調査)

調査時期 : 2019年1月 調査対象 : 全国、60～79歳男女
 標本抽出法 : QUOTA SAMPLING 性別・年齢・都道府県で割付 1,133サンプル回収

■問い合わせ先

詳細なデータ、質問項目など、ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。
 株式会社NTT ドコモ モバイル社会研究所 msri-inq-ml@nttdocomo.com 03-5156-1087